

## 編集後記

現在大学は大きく変革しようとしています。病院の統合、独立行政法人化、口腔生命福祉学会の新設と挙げただけでもその大きさが伝わってきます。今回の歯学部ニュースでは、その中で、「口腔生命福祉学科新設」を特集で取り上げてみました。少子高齢化を迎える中で、新たな展開が期待できるのではないかと思います。

なかなか思うように編集作業が進みませんでした。私たちスタッフの思いが少しでも伝わることを念じています。

口腔保健推進学分野 葭原 明弘

新潟大学に赴任して3度目の春が来ました。これまで様々な方々に支えられて、なんとか大過なく(?) 過ごすことができました。この場をお借りして御礼申し上げます。巷間言われているように、新潟大学にとって、いや、歯学部にとっては激動の、とても厳しい時期が来ています。歯学部ニュース編集に少しでもだけ関わらせて頂いて、新潟大学歯学部に集まる方々の多様性を改めて認識しました。その多様な英知を結集すれば、近い将来、新潟大学歯学部の卒業生たらんと、全国から人が集中する歯学部になることは間違いないと信じています。最後に、今回の原稿依頼を快くお引き受け頂いた同窓会の先生方、学生諸君に感謝致します。どうも有難うございました。

歯科総合診療部 魚島 勝美

今回の歯学部ニュースでは「留学報告」を担当させていただきました。遠く離れた外国にいる先生から原稿をいただくのに、Eメールを利用し、そのありがたみを改めて感じました。と、同時に最近は何でもメールで済ませることが多くなっている自分にも改めて気づきました。近くにいる方とは直接会って話をすることも大切なのでは…と考えさせられました。

口腔再建外科 加納 浩之

今回の歯学部ニュース編集では、「歯科臨床研修修了にあたって」と「教授就任にあたって」を担当させていただきました。いずれの先生方も原稿執筆を御快諾いただき、また、締め切りもしっかり守っていただいて大変助かりました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

歯科総合診療部 小林 哲夫

最近、公的病院での医療事故のニュースが紙面を賑わしています。また、CT検査が癌発生の原因となっているというニュースが大きく報道されたり、国民の意識は情報に踊らされながら高くなっています。今後は独法化後の当大学のあり方に注目が集まっていくと思われます。歯科界という大きな木々に位置する我々は、今後、1枚1枚の葉を見ていく虫の目と、森全体を見ていく鳥の目が必要と思います。あらたに動き出した歯学部の足音を感じていただければ幸いです。

加齢・高齢者歯科学分野 佐藤 孝弘

歯学部ニュースの入稿も終わり安心していると編集長より督促が、あれっと思ったら編集スタッフからのメッセージというのをすっかり忘れてました。メールで催促ばかりで楽しいたら、いざ自分が締め切りに追われると執筆者の大変さが分かり、原稿を快く御引き受け下さった皆様に心から感謝いたします。また編集長の葭原先生には本当にご厄介をお掛けいたしました。ありがとうございました。

顎顔面放射線学分野 中島 俊一